

リハビリ通信

東大阪病院では、「帰ったその日から困らない退院支援」に力をいれています。また、在宅生活が出来るかどうか不安という患者様・ご家族様に対しては、動作方法や福祉用具・介護保険のサービスの検討を行いご自宅での生活の可能性をご提案させていただいています。今回は、具体的な生活を想定したリハビリ訓練についてご紹介いたします。

バリアフリーで十分な設備の整った病院とは違い、自宅生活には段差やじゅうたん、屋外ではでこぼこの道など、日常生活では、転倒の危険がいっぱいです。応用的な歩行練習として段差の練習や屋外歩行の練習はもちろん、もしもの時に備えて、しゃがみこみや支持物の少ない環境下での立ち上がり練習なども取り入れています。

自宅に退院後、食事やトイレといった身の回りのことだけでなく、入院する前に家事もご自身で出来るようになって帰りたいと希望される患者様も多いです。訓練では実際に動作を行い、一緒に確認します。もし、苦手な動作があっても大丈夫です。練習を行ったり、便利な道具を提案するなど出来るような方法を一緒に考えます。

右の写真は、調理訓練の様子と入浴動作の練習場面です。模擬的な動作練習を経て、実際の調理を行い実際に出来るかどうか、やりにくい部分がないかを一緒に確認していきます。ご家族様にも訓練に参加していただく・写真で報告するなどして、出来る動作を確認して、安心してご自宅でも実施して頂けるようにしていきます。入浴動作は、ご自宅のお風呂環境に近い状況を再現して、動作の手順を確認します。繰り返し行うことで、安全に入浴する方法を身につけていきます。



私たちが担当させていただきます



調理訓練の様子

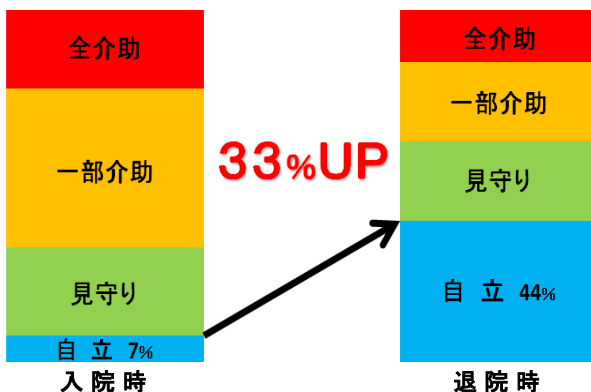


入浴動作練習の様子

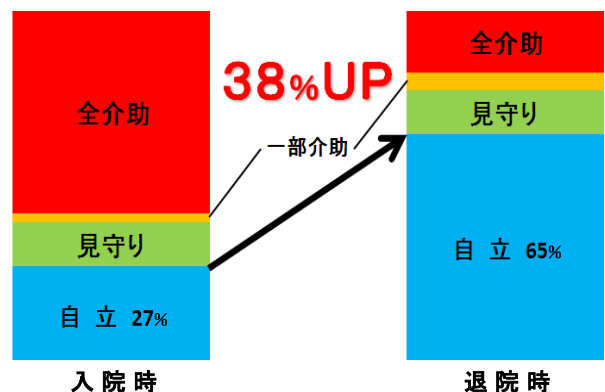
当院の回復期リハビリテーション病棟治療効果

【平成25年8月～9月に退院された40名の患者さんの結果】

◆日常生活自立度の改善割合◆



◆歩行能力の改善割合◆



多くの患者さんが、日常生活動作をご自身で出来るようになっておられます。

※データは日常生活自立度(FIM)の結果